

第3期港南区地域福祉保健計画（素案）に対する 区民意見募集の実施結果について

1 実施概要

(1) 募集期間

平成27年10月13日（火）～11月13日（金）

(2) 周知方法

ア 素案冊子・概要パンフレットの配布

区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、区民活動支援センター等

イ 関係団体等への説明

港南区連合町内会長連絡協議会、港南区社会福祉協議会 地区社会福祉協議会分科会、行政委嘱委員区全体定例会（民生委員・児童委員、保健活動推進員等）、港南区子育て連絡会、港南区障害者団体連絡会、港南区小・中学校長会等

ウ 周知ブースの設置

こうなん子どもゆめワールド開催に合わせ、区社協前にて周知ブース出展 等

エ 広報媒体

港南区ホームページ、広報よこはま港南区版 10月号掲載

（タウンニュース港南区版 10月15日号、10月22日号記事掲載）

(3) いただいた意見数

48件（23人、5団体）

【年齢内訳】

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	未記入
2人	0人	2人	4人	3人	7人	1人	4人

【意見提出方法】

区役所持参3人、郵送2人、FAX1人・1団体、電子メール1人、

こうなん子どもゆめワールド等での提出16人、団体意見交換4団体、

2 主なご意見

(1) 区計画全体に関すること

ご意見の内容	区役所・区社会福祉協議会としての考え方
素案冊子3ページ 活動団体の中に「保護司会」がありません。保護司のみなさんの力はとても大きいので、別枠で追加を希望	ご意見を踏まえ、記載を変更します。 （「保護司会・更生保護女性会」を追加）

<p>計画の内容と、その達成度合いがわかりやすくイメージができるようなものにすべき。</p>	<p>テーマごとの取組内容や取組例、写真の挿入で具体的なイメージができるよう工夫します。また、計画の振り返りの際にも、活動の成果等分かりやすくお伝えできるようにしていきます。</p>
<p>“一人ひとりみんな違ってみんないい”それぞれの立場がお互いに認められ、活動が広がるために、今後広く皆さんに計画が伝わるよう、様々な講演会や研修会の初めの部分などで、計画の目標とともに関係ある部分をアピールして、計画の認知度を高めていかれるとよい。 区計画と地区別計画の関連性を伝えていくことも必要。</p>	<p>ご意見について、関係部署で共有し、様々な機会をとらえ、計画の認知度（区計画と地区別計画の関連性も含め）を高める取組をしていきます。</p>
<p>子育て当事者の意見を盛り込む機会をつくってほしい。</p>	<p>11月7日こうなん子どもゆめワールドの開催に合わせ、近隣施設でブースを設け、イベントに来場した方に素案・区民意見募集の周知を行いました。 今後も、子育てをされている方のご意見を大切にできるよう、計画の周知とともに取り組んでいきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 多世代が参加できるイベントや、地域交流のイベント、障害のある方も分け隔てなく参加できるイベント ● 障害のある方の防災訓練への参加 ● 福祉・保健に関する講演・講座 ● 平日仕事をしているので、土・日曜日に参加できるイベント ● 困ったときの相談先の案内が広報・チラシ等で各家庭に分かるように <p>イベント企画や周知の検討をお願いします。</p>	<p>ご意見について、関係部署で共有します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 確かに一人ひとりが考えられる街になるといい。 ● お互いに支えあう気持ちが大切。広がっていくと良い。 ● 老若男女問わず、個性を生かしてつなが 	<p>ご理解いただき、ありがとうございます。ご協力よろしくお願いいたします。</p>

<p>ていけたら良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一人暮らしの方が多くなっているので、一日一回でも声かけができるようなことがあれば良い。 	
---	--

(2) 区計画 8テーマに関すること

ア「知る」

ご意見の内容	区役所・区社会福祉協議会としての考え方
<p>住民の中で、20歳代から60歳代までの住民に呼びかける方法の一つに「ホームページ」があります。私は、地域の連合町内会か地区社協にホームページを立ち上げてもらうと良いと思います。</p> <p>区役所は、連合町内会や地区社会福祉協議会の役員向けにホームページの立ち上げ方の支援（作り方や維持管理の方法）をしてほしい。ただし、ホームページの立ち上げは、あくまでも自立して地域で行うため、補助金は出すべきではないと考えます。</p>	<p>区役所では、自治会町内会役員の方に対して、パソコン教室を開催しています。その内容は、お知らせやチラシをつくるための文章入力や、総会資料を作成するための表計算ソフトの活用です。ホームページの作成・管理については、内容に入っていないので、役員をされている方のご要望や考えをお聞きし、検討します。</p>
<p>情報伝達について、社会福祉協議会や行政は、障害者本人に伝わる手段を率先して障害ごとに工夫してほしい。（例えば、資料は、印刷物やPDF化されたものは、視覚障害者が手にしても、伝わらない）</p>	<p>障害のある方への情報のお伝えのしかたについて、様々な方法が考えられます。障害のある方とコミュニケーションを取りながら、方法について工夫をしていきます。</p>

イ「支えあう」

ご意見の内容	区役所・区社会福祉協議会としての考え方
<p>テーマ4「支えあう」の部分を強化してほしいと思います。テーマ1「知る」、テーマ2「つながる」ができない弱い立場の方を支えることが大切</p>	<p>地域の皆さんが支えあうことの大切さについて、引き続き、事例発表などを通して、広報・啓発していきます。</p>

ウ「高齢者」

ご意見の内容	区役所・区社会福祉協議会としての考え方
<p>区社会福祉協議会の取組の中で、法人として成年後見制度を行うための検討を始めます。と書いてありますが、この5年間の達成目標を明記するなど、具体的に示した方がよ</p>	<p>区社協における成年後見制度の開始については、横浜市域全体で進められるものとなります。区社協においては、制度開始時に迅速かつ適切に取り組めるよう、市域の進捗状</p>

い。	況を常に把握し、状況に合わせた準備を進めていきます。
----	----------------------------

エ「障害児・者」

ご意見の内容	区役所・区社会福祉協議会としての考え方
港南区内に作業所が増えるとよい。将来を見据えた計画的な施設づくりをしてほしい。	障害者施設の設置について、ご意見を関係部署と共有します。

オ「子ども・青少年」

ご意見の内容	区役所・区社会福祉協議会としての考え方
計画の中で、「外遊びの推進」を前面に打ち出して欲しい。外で遊んだ記憶が子どものふるさと意識につながるのではないか。地域の人達も、子どもが遊び成長する姿に接することで活性する。外に出ることによって地域の様々な人が顔の見える関係になり、まちづくりの促進につながる。	ご意見について、関係部署で共有します。

(3) 計画の推進に関して

ご意見の内容	区役所・区社会福祉協議会としての考え方
具体的にどんな成果があったかという確認は、毎年やってほしい。障害者側が行政などにやってくれ、ではなく、自分たちも協力してできることを探していきたい。	区計画については、特に地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所の取組について、毎年確認を行い、区民の皆さんにもその確認内容を広報していきます。 ご協力をよろしくお願いいたします。